

# Web 版 図書館しが

平成 19 年 12 月 1 日発行 編集・発行：滋賀県立図書館

## 挑戦！！図書館検定



テーマは「1番」。やってみよう！

Q1. 県立図書館は、昭和 18 (1943) 年  
大津市にあったある建物を利用して開館  
しました。その建物は？

滋賀会館 滋賀県立大津高等女学校  
滋賀県商品陳列所 大津公民館

Q4. 県立図書館が市町立図書館に巡回を始  
めた昭和 56 (1981) 年度、市町立図書  
館に協力貸出した本の冊数は？

256 冊 1,321 冊  
47,738 冊 37 冊

Q2. 県立図書館が所蔵している「近江国絵  
図」のうち 1 番古い絵図は？

慶長図 正保図 元禄図 天保図

Q5. 館報「図書館しが」第 1 号の特集は？

読書普及研究集会ひらく  
子どもに本をどうぞ  
利用者座談会ひらく  
わたしと図書館

Q3. 次のうち、県立図書館で 1 番多く貸出  
されている児童書は？

エルマーのぼうけん  
ぐりとぐら  
14ひきのびくにつく  
ノタンおよぐのだいすき

Q6. ロビーの壁、1 番上に掲げられた信楽  
焼きの陶板レリーフ。この作品名は？

天心 陽心  
月心 円心

### INDEX

- ・(特集) 挑戦！！図書館検定・・・・・・・・・・ 1～3 面
- ・湖南図書館研修生ヘインタビュー・・・・・・・・ 3 面
- ・郷土資料紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4 面

### 図書館の催し

#### 人権啓発資料展

12月1日(土)～12月27日(木)  
2階参考資料室にて

#### オンラインデータベース講習会

12月18日(火) 午後2時より  
地下1階大会議室にて

#### おはなし会

12月19日(水)・1月16日(水)  
午前11時と午後3時の2回 1階談話室にて

## 図書館の「1番」は…解答編

### Q1 . 答え 滋賀県商品陳列所



県立図書館は、昭和18(1943)年6月20日に大津市神出字筒井(現在の長等小学校敷地)にあった滋賀県商品陳列所を改装して開館しました。図書館2階の閲覧室からの眺めは、大変美しく琵琶湖はもとより、遠く三上山や田上の連山を望むことができました。

開館時の蔵書冊数は約2万冊。当時は戦時下で物資統制がきびしく、図書の発行部数も少なく蔵書を揃えることは大変困難な作業でした。

### Q2 . 答え 正保図

江戸幕府は諸国の主な大名に命じて国ごとの地図である「国絵図」を作成・提出させました。

県立図書館が所蔵する「近江国絵図」は、正保図・元禄図・天保図の3点で、すべて滋賀県指定有形文化財となっています。

現在、これらの国絵図の一部は当館のデジタル・アーカイブサイト“近江デジタル歴史街道”で公開しており、江戸時代の滋賀県の様子を手軽に目にすることができます。

国絵図は、江戸時代4度作成されましたが、近江国絵図の慶長図は、現在のところ確認されていません。

### Q3 . 答え ぐりとぐら



「ぐりとぐら」は2,000回以上の貸出でトップ。昨年度1年間だけでも、176回貸出され

ています。つづいて“エルマー”、“ノンタン”、“14ひき”の順になります。どの本も出版されてから20年以上、子どもたちに愛されてきた主人公たちです。他にも、“11ぴきのねこ”や“こまったさん”などおなじみのシリーズが貸出回数の上位を占めています。

### Q4 . 答え 256冊

昭和56(1981)年度、大津・彦根・八日市・守山・野洲・水口・今津の公立図書館7館と近江八幡・江北の私立図書館2館の計9館へ毎月1回の巡回を始めました。

それまでは、2ヶ月に1回の移動図書館車の巡回にあわせて各館へ本を届けていましたので、貸出の依頼も少なく、巡回開始の前年度は37冊の貸出しがありませんでした。しかし巡回を始めた年は256冊、頻度が増えた翌年には1,321冊としだいに増えていきました。

巡回開始から25年たった昨年度、市町立図書館への協力貸出冊数は47,738冊、図書館の数も47館になりました。

### Q5 . 答え 利用者座談会ひらく



「図書館しが」の第1号は、昭和46(1971)年8月15日に発行されました。特集は、「利用者座談会ひらく」で、館長と12人の利用者の方との座談会の様子が報告されています。

この頃の館報をみていくと、本を読むお母さん運動や読書グループの活動報告などがさかんに取り上げられています。当時、県立図書館の大きな役割の一つが読書普及活動でした。なかでも本を読むお母さん運動は、全国的にも注目された活動でした。館報も紙面を通じて、このような読書を普及するための活動を広く伝え、支援する役目を担っていました。

## Q. 6 答え 円心

階段を上がる途中、陽光に浮き上がるこのレリーフに目を留められた方も多いのではないのでしょうか。鈴木健司氏によるこの作品の名前は「円心」です。鈴木氏によれば、中心部に文化をあらわした太陽のような半円球、このまわりをかまぼこ形の大きなうねりをもって包みこむ造形により、より豊かな文化の中心点と、その中心に向かって高揚する心を表現したとのこと。

### 「非常感謝、再会！」

#### ～ 湖南図書館研修生ヘインタビュー～

県立図書館での研修を終えられた中国・湖南図書館の陳瑛さんちんえいと王鶯さんおうしゅうにお話をお伺いしました。

#### - 滋賀県と日本の印象はどうでしたか。

陳) 滋賀県は景色もよく環境も素晴らしい所でした。人々は古い伝統を守りお互いに尊敬し合っているように感じました。日本に来る前は、全ての仕事が機械化されているイメージがありましたが、実際は人々が見えないところで懸命に働いていることが分かりました。また一緒に生活してみると中国と共通することが多く、とても身近に感じました。

王) 中国のドラマでは日本人は厳しく、無表情に描かれています。でも職員の皆さんはいきいきと笑顔いっぱい働いていて、印象が変わりました。結婚した女性は仕事をやめるとも聞いていたのですが、実際はそうでなく驚きました。

陳) 中国では、コックは中国人、恋人はフランス人、奥さんにするなら日本人といわれているんですよ。(笑)

#### - 今回の研修で印象に残ったこと、大変だったことは何でしたか。

陳) 県立図書館と市町立図書館との協力関係は素晴らしいと思いました。中国では図書館同士の本の貸し借りなどはありません。利用者は図書館に読みたい本がなければあきらめます。

王) 車椅子・授乳室などの設備が整っていること、利用者へ精一杯サービスしていることが印象に残りました。

陳) 研修で大変だったのは、カウンターで一日

このレリーフには、県立図書館が県内における文化活動のセンターとなるべき施設であるとの作者の願いがこめられています。

みなさん検定の結果はいかかでしたか。全問正解したあなたは“図書館の達人”です。

この検定をきっかけに県立図書館の知られざる一面に興味を持っていただければ幸いです。

(参考:『滋賀県立図書館創立50周年記念誌』1994年刊)

立って仕事をすること。中国ではほとんど座っていますので疲れしました。

王) お昼寝ができなかったこと。(笑)

(中国では交替で昼休みを2時間半ほど取るそうです!)



(写真左から 陳さん、王さん)

#### - 湖南図書館に戻れたらまず何をしますか。

陳) 多くの人にこの研修で学んだこと、図書館の仕事だけではなく、私が日本で体験したすべてを伝えたい。滋賀県立図書館との交流としては、出来ることから始めたいと思います。まず湖南図書館の館報や年報をお送りします。

王) 研修資料をまとめて2万字の報告書を作成します。私は図書館のホームページを担当する部署にいますが、滋賀県立図書館に関するページを作成する検討を始めます。

#### - 最後に湖南省、図書館のPRを!

陳) 湖南省は毛沢東の出身地ということで図書館ではすべての研究書を揃えています。また歴史も大変長く古い資料が充実しています。

王) 洞庭湖や桃花源など名所・旧跡がたくさんあり景色もとてもきれいです。少数民族が多く歌や踊りなど楽しんでいただけたらと思います。

カウンターでの応対やお話会での手遊び、中国語と英語での絵本の読み聞かせなどを通して、たくさんの方と触れ合えたことを大変喜んでおられました。お二人にあたたかい声をかけていただいた皆様ありがとうございました。



## FLASH ふらッシュ



### 文化の日 文化ゾーン探検隊!

今年も文化ゾーン探検隊として、図書館では地下書庫探検を行いました。当日は、朝から行列ができるほどの大盛況! 臨時開催を含め計137名の方に探検していただきました。探検中に見つけた本を、カウンターでさっそく貸出された方もありました。

今後も、みなさんに楽しんでいただけるイベントができればと考えています。

## 湖国の本棚



『琵琶湖博物館を語る  
対談 1996-2006』

川那部浩哉著

サンライズ出版 2007.7

琵琶湖博物館館長川那部浩哉氏がさまざまな分野で活躍する国内外のゲストと琵琶湖について語り合った対談集です。養老孟司氏をはじめ各界で活躍する著名人だけでなく、守山高等学校・甲西北中学校の学生たちがゲストとして参加し、博物館に望むことなども話されています。

対談形式なので読みやすく、また丁寧な脚注が付けられているので琵琶湖の現状などがやさしく学べます。さらにゲストの話の中から、芸術や文学からみた琵琶湖の思いがけない姿を知ることが出来ます。

## 今月のデジタルアルバム帖

### 12月「三井の晩鐘」

近江八景の一つ、「三井の晩鐘」で有名な天台宗寺門派総本山園城寺(三井寺)を紹介します。

7世紀に創建された園城寺は、貞観年間に智証大師円珍によって天台宗別院として再興されました。

10世紀後半には、宗派の対立から



延暦寺に拠る「山門」に対して、園城寺は「寺門」と呼ばれるようになりました。今年も12月31日には、三井寺の鐘が厄除けを祈念して撞かれます。今月は、三井寺を各種の絵葉書や浮世絵などでご紹介します。

### 1月「ヴォーリスと近江八幡」(仮題)

キリスト教伝道のため明治38(1905)年来日したウィリアム・メレル・ヴォーリスを取り上げます。彼の業績を関連資料とともにご紹介します

## 郷土資料紹介

平成19年9月～10月購入・寄贈分

### 決断! 開国と大老井伊直弼

彦根城博物館編 彦根城博物館 2007年

古都逍遥庭園に遊ぶ 京都・奈良・近江・36の「名庭」を散策  
「週刊ポスト」編集部編 小学館 2007年

彦根城下町検定公式テキストブック ひこにゃんと城下町を学ぶ本

彦根商店街連盟広報部編 彦根商店街連盟 2007年

### 淀川ものがたり

淀川ガイドブック編集委員会編著 河内厚郎執筆

読売連合広告社 2007年

### 近江佐和山城・彦根城

城郭臨話会編 城郭臨話会 2007年

湖北町の伝統食・地産食 忘れぬうちに伝えたい

湖北町食事文化研究会編 湖北町食事文化研究会 2007年

### 慈覚大師円仁とその名宝

NHKプロモーション編 NHKプロモーション 2007年

### 絵本源氏物語 石山版

石山寺 2007年

### わたしのギャラリー (カレンダー)

阿部壬子画 阿部壬子 2007年

杉原千畝と命のピザ シベリアを越えて

寿福滋撮影 サンライズ出版 2007年

### 信楽汽車土瓶

畑中英二編著 サンライズ出版 2007年

### 還暦からの99山

大辻喬夫著 大辻喬夫 2007年

### カヌーでめぐる湖 3

岡田明彦著 サンライズ出版 2007年

### 耀う 歌集

森田茂男著 森田茂男 2007年

### 蕉風の群像 芭蕉以後を中心に

山川安人著 邑書林 2007年

### 觸れなば 詩集

藤本真理子著 銅林社 2007年

### 旅八風雅の花 旅客・五老井許六

石川柊著 朱鳥社 2007年

### 奇妙な羽衣伝説

たなか踏基著 幻冬舎ルネッサンス 2007年

### 風のとさき 鐘田和子エッセイ集

鐘田和子著 短歌研究社 2007年

ガタロのよしの昔話 「小さな足跡」第二部

加藤義一著 加藤義一 2007年